

会 社 名 株式会社ジェーソン  
代 表 者 代表取締役社長兼会長 太田 万三彦  
(コード番号：3080 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 専務取締役管理本部長 山田 仁夫  
電話番号：04-7193-0911 (代表)

## 2026年2月期 第3四半期 決算に関する質疑応答集

この質疑応答集は、2026年1月13日に発表いたしました2026年2月期 第3四半期 決算について、当社で想定していました質問および発表以降に株主、投資家などの方々からいただいた主なご質問・お問い合わせ等の内容とその回答についてまとめたものです。本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであり、ご理解いただきやすいよう、一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

### Q1 | 2026年2月期第3四半期は、前年同期比0.3%増収の一方で、49.3%の減益となりましたが、その主な要因について教えてください。

A | 売上高は、子会社サンモールの売上高が加算されたことや、当社オリジナル(PB)商品の好調な販売等が寄与したものの、JV商品※の仕入環境が依然として厳しく、前年同期比で微増収に留まる結果となりました。一方、利益面については、M&A関連費用や車両購入による減価償却費といった将来への前向きな投資に加え、子会社サンモールの経費負担が増加したことなどにより、前年同期比で減益となりました。

※当社グループの特別な集荷努力により、お客様と当社グループ双方にとってより有利さを実現した商品

### Q2 | 子会社サンモールの状況について詳しく教えてください。

A | 主要拠点である群馬県沼田エリアにおいては、他社食品スーパーの新規参入が相次ぎ、従来以上に厳しい競争環境下での営業を余儀なくされている状況です。一方、その他のエリアに立地する店舗については、概ね安定的な商圈を維持しており、売上動向は総じて堅調な推移を見せております。

昨年9月には「サンモール鍛冶町店」の店内にジェーソンをオープンさせ、初の共同店舗化を図るなど、グループ間のシナジー創出にいっそう注力しております。引き続き管理体制の強化やオペレーションの効率化、コスト構造の見直しを継続的に進めるとともに、今後も両社間での商品供給やノウハウの共有を深めることで、経営の安定性向上を図り地域のお客様の生活を支えるインフラとしての機能を更に強化してまいります。

### Q3 | 新規出店の進捗状況と、今後の出店戦略について教えてください。

A | 本期におきましては、9月に「沼田鍛冶町店」（サンモールとの共同店舗）と、12月に「香取多古町店」の2店舗を新たにオープンし、順調に拡大を進めています。今後も、店舗のスクラップアンドビルドの推進と、サンモールとジェーソンの共同店舗化や一部取扱商品の共通化（冷凍食品等）を含めた柔軟な出店を継続してまいります。

**Q4 | ジェーソンオリジナル(PB)商品の販売状況と今後の展開について教えてください。**

A | オリジナル(PB)商品につきましては、引き続き好調に推移しており、特に主力商品である「尚仁沢の天然水」に関しては、安定供給体制の確立と生産能力の更なる向上のため、設備投資を積極的に進めています。新商品・アイテムについても、着実に開発を進めており、早期に市場投入ができるよう生産設備の拡充を含め鋭意取り組んでいるところです。今後も、収益性の高い当社オリジナル(PB)商品の開発・育成と生産インフラの強化を継続してまいります。

**Q5 | 物価上昇や人件費増大といったコスト増の傾向は今後も継続すると想定されますが、利益回復に向けた今後の具体的な取り組みを教えてください。**

A | 物価高騰や人件費の増大といったコスト上昇については、中長期的に継続する外部要因と捉え、これらを前提とした対策を着実に進め、引き続きグループ全体の収益力向上に向けた構造改革と効率化の推進に努めてまいります。具体的には、JV商品の仕入れや供給体制の強化、サンモールとの共同店舗化・商品の相互補完などの拡大、当社オリジナル(PB)商品の拡充等を更に加速させ、収益力の回復を目指します。また、店舗のスクラップアンドビル推進や、自社開発のアプリ等を活用した各種業務の効率的・合理的な運営などコスト低減に取り組み、今後も「ムリ・ムラ・ムダ」を省いた徹底したローコスト経営を進めてまいります。

**Q6 | 株主優待制度の継続の理由を教えてください。**

A | ご好評いただいております株主優待制度は、2026年度も同様の内容で継続させていただくことになりました。株主様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主の皆様に当社のファンとなっていただくこと、また株主様のすそ野を更に広げ中長期的に当社株式を保有していくだける株主様の一層の拡大を図ることを目的としております。

詳細は[こちら](#)のお知らせをご覧ください。